

## ～ 台湾の現況について ～

今年も半分終わり、暦は7月。梅雨入りも早かったが、雨の日はさほどでないままに梅雨明け。何と言っても、東日本大震災(3月11日)から、あつという間の出来事のように未だに解決の糸口さえ見えないままである。

未曾有の被害は、絶望の中でも私たちに「生きる」ことの意味を突きつけ、これまでの価値観は、一掃するが如く未来の社会を見通すことは困難な状況にあります。

加えて、救援から復興においての政府・行政の役割が問われている中で、多方面からの義捐金は有り難いことに2千数百億円に達したと報道されている。中でもいち早く届けてくれたのは、台湾157億円である。他国(米国90億円、韓国19億円、中国3億4千万円)と比しても、けた外れで殆ど民間からだと言う。(5月現在)

今回は、日・台交流の架け橋として活躍されている内山さんから正直な内情についてお話して頂きます。

皆さまのご参加をお願いします。

### 記

1. 日時 : 平成 23 年 7 月 24(日) AM 8 時 ～ 11 時

2. 場所 : 平山建設(株) 会議室(6F)

成田市花崎町795

電話0476-23-1111

<交通案内> 京成成田駅東口徒歩5分、JR成田駅徒歩 8分 駐車場有り。

3. 会費 : 1000円

4. 演題 : 「台湾の現況について」

5. 講師 : 内山 邦和氏 草莽塾 塾長

6. プロフィール

- ・昭和18年、茨城県神栖市生まれ、
- ・昭和37年、航空自衛隊 浜松レーダー教官退官後、各企業からの要請を受けて社員研修を担当
- ・傍ら、関西師友協会において、伊与田覚先生に学び、現在、論語普及会を通じて台湾との友好に貢献。
- ・草莽塾 塾長

7. レジューメ

1. 日本文化と支那文化の対立
2. 2.28 事件に代表される支那人の獣性
3. 中華民国という国は存在しない
4. 義捐金を日本に送ってくる場合ではない

